

普及活動情勢報告（令和5年8月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

夏期のニラ出荷に向けて ～目慣らし会の開催～



全員で熱心に品質チェック！

7月26日、J A高知県香美地区ニラ部会目慣らし会が野市及び土佐山田集出荷場で開催され、部会員20名が参加しました。

農業改良普及課は、アザミウマ類の屋外での発生傾向情報及び、早期防除や除草などのほ場周辺管理の重要性、農薬の適正使用などについて指導し、J Aからは夏期に発生する病害対策や、黄化・葉先枯れ症状のある葉はしっかりと‘そぐる’よう指導がありました。参加者からは「そぐった後、ニラの状態をチェックせないかね」「そぐり手（調製作業員）にも今日のことを伝えちよく」といった声があがりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、ニラの安定生産に向けて支援します。

R 6 園芸年度の収量アップを目指して ～イチネン農園P T会～



次作に向けた改善策を協議

7月20日、イチネン高知日高村農園南国農場でP T会を開催し、従業員及び関係者計13名でR 5 園芸年度の振り返りや、R 6 園芸年度営農計画の確認、栽培管理の改善策について協議しました。

農業改良普及課は、J A高知県長岡ピーマン部会全体の月別出荷量及びイチネン農園の出荷量や生育調査結果を報告しました。初期の給液量や樹づくり、病害対策に課題があることを参加者で確認し、イチネン農園では「給液量と回数はどれくらいが適当か」「硫黄くん煙器はいつから稼働させたら良いか」といった質問に対し意見交換を行いました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、新規参入企業の早期の栽培技術習得や生産安定を支援します。

初開催！地域を越えた学びの場 ～南国・香美シシトウ部会合同勉強会～



非辛みシシトウについて
熱弁する普及指導員

7月25日、J A高知県土長地区本部で、南国・香美シシトウ部会合同勉強会が開催され、シシトウ生産者20名が参加しました。

J Aから、R 5 園芸年度の振り返りやR 6 園芸年度に向けた栽培管理について、農業改良普及課や県関係機関からは、非辛みシシトウの現地試験結果等について情報提供しました。

生産者からは「黒枯病対策について有効な手はないか」「非辛みシシトウの栽培で注意するポイントは？」などの質問がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、勉強会の実施等部会の活性化を図るとともに、非辛みシシトウの普及に取り組みます。

施肥と樹勢維持で収量アップ！～露地オクラ現地検討会～



摘葉や追肥のタイミングがポイント！

7月24日、J A高知県香美地区オクラ部会が現地検討会を開催し、生産者15名が参加しました。

農業改良普及課は、樹勢の維持と追肥のタイミングについて解説し、J Aからは今後の栽培管理について情報提供しました。

生産者からは「樹勢が弱い時の対策は？」「イボ果の発生を少なくするにはどうすればよいか」といった質問が出されました。現地では先輩生産者が摘葉や追肥のやり方を新規栽培者に説明するなど活発に意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、オクラの収量向上に向けて支援します。

優良種子の確保に向けて ～水稻採種ほ場審査～



ほ場審査の様子

7月28日と8月7日、香美市香北町水稻採種組合のほ場審査を行い、生産者や関係機関のべ13名が参加しました。

農業改良普及課は、関係機関とともに、異品種の混入や変異、特定病害虫の発生の有無等に注意しながら計9ほ場を審査しました。これらの点についての大きな問題はなかったものの、水不足に起因する除草剤の効果低下による有害雑草の多発や、イノシシの侵入による倒伏被害から、残念ながら審査を辞退されたほ場もありました。

審査結果に生産者は納得した様子で、収穫へ向けての気持ちを新たにしていました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、優良種子の生産安定に向けて支援します。

高知県農村女性リーダーと青年農業士が新たに認定されました！



代表して決意表明をする
青年農業士

8月7日、高知共済会館で令和5年度農村女性リーダー及び青年農業士の認定証授与式が開催され、中央東ブロックからは農村女性リーダーに2名及び青年農業士に5名が新たに認定されました。

農業改良普及課は、地域の青年農業士等から推薦を受けた候補者の選定や申請書の作成を支援しました。申請書を作成するに当たり、自身の農業に関する経歴や取り組みを振り返る機会にもなり、認定に向けて気を引き締める候補者の姿が見られました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、管内の青年農業士のニーズに応じて勉強会の開催などを支援し、担い手の育成を推進します。